



**INNOVATOR'S  
GARAGE**

主催： Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium  
( 中部経済連合会・名古屋大学・愛知県・名古屋市 等 )

後援： 中日新聞社

スタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」選定記念事業

# ニューノーマルを生き抜く

## ～予防衛生・地域活性化・あらたな行動～

コロナ禍が『ニューノーマル』という社会像を求めている。現在、移動制限と需要の蒸発という『圧縮された変化』に日本全体が呆然自失としている。その一方で、やるべきことも見えてきた。未来に向けた提案を我々は出すべきではないだろうか。

現場の医療、医薬ビジネスを始め、工学、農業、デジタルの各分野の第一線で活躍する識者・若手経営者を招待し、ニューノーマル時代を変革のチャンスと捉え、地方活性化やスタートアップに向けた提案へと議論を展開する。



詳細・申し込み  
はこちら

2020年9月4日(金)

オープニング

9時30分～10時00分

パネルディスカッション

10時00分～12時00分終了予定

**ナゴヤ イノベーターズ ガレージ(名古屋栄 ナディアパーク4F)**  
オンライン同時配信あり

**無料** (要申し込み 定員：会場参加 50名・オンライン参加 500名)

【モデレーター】 島田 佳幸氏 中日新聞社・論説主幹

【登壇者】 平田 仁氏 名古屋大学 予防早期医療創成センター・教授  
佐宗 章弘氏 名古屋大学・副総長  
杉浦 克典氏 株式会社スギ薬局・代表取締役社長  
加藤 百合子氏 株式会社エムスクエア・ラボ・代表取締役  
岩木 勇一郎氏 株式会社スピード・代表取締役



**INNOVATOR'S  
GARAGE**

**ナゴヤ イノベーターズ ガレージ**

<https://garage-nagoya.or.jp>

〒460-0008

名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク4F ナゴヤイノベーターズガレージ



## 【モデレーター】

### **島田 佳幸氏** 中日新聞社・論説主幹

第二次大戦や大恐慌にも比肩される危機の中、どうピンチをチャンスに変えるか。換言すれば、何を学ぶか、が問われている。一つのカギはデジタルや環境であろうし、また別の一つは、一極から多極化という意味も含めた「多様性」ではないかとも思う。



## 【登壇者】

### **平田 仁氏** 名古屋大学 予防早期医療創成センター・教授

空間接続技術を駆使し地域社会を活性化する絶好の機会。5G通信やデジタル機器を活用した医療システムの構築（オンライン問診、見守り機器）。お年寄りら住民の健康管理や治療に役立つ技術開発を考える。



### **佐宗 章弘氏** 名古屋大学・副総長

都市化による政治経済の事業継続性リスク。南海トラフ地震などで同じようなリスクが襲ってくる可能性は大いにあり、「東京一極集中」の見直し(密集型から分散型へ)とこれにチャレンジするスタートアップを推進する大学群と若者にとり大きな機会と主張。



### **杉浦 克典氏** 株式会社スギ薬局・代表取締役社長

地域包括ケアの推進(高齢者の活動増進を図るスマートフォン用アプリケーションの開発、オンラインを通じて在宅における高齢者の運動促進など)。日常生活を支える「エッセンシャルワーカー」がいるからこそ、社会が成り立つ。そのことを理解し、感謝する雰囲気醸成することが大切と主張。



### **加藤 百合子氏** 株式会社エムスクエア・ラボ・代表取締役

コロナ禍での消費不振で苦境に立つ生産者を物流システムの工夫で支援。ヤマト運輸と連携して農産物の越境流通事業を始め、地域の農産物を集荷・配送する自社システムと宅配サービスを組み合わせる。

デジタルと自動化農業により、もうかる農業を主張、推進する。



### **岩木 勇一郎氏** 株式会社スピード・代表取締役

リモートならではの新しい体験を学生にさせるべくデジタル機能を駆使。日本で遅れるデジタル教育を通じ、ものづくりの心と最新の技術をマッチさせ、伝統を大事にするだけでなく、新たな方法も加えながら地域を盛り上げる。

